

秘

内閣情報部二〇・一二 情報第四號

— A P 通信の帝國海軍の活躍報 —  
同盟來電 — 不發表

ニューヨーク十一日發

十一日入電ノ A P 上海電は、今回の事變により帝國海軍の實力が外國海軍通間に充分認識されたる旨を述べて左の如く報じてゐる

「日本巡洋艦隊或は戦艦かも知れないは暗夜に乗じて揚子江口を遡航し、浦東の敵陣地に對して猛烈な砲撃を加へた後夜明を待つて引揚げた、更に第三艦隊所屬の巡洋艦五隻驅逐艦二十五隻が暗夜の江上を怪物の如く上下して支那軍を憚してゐる、水上機母艦神威、航空母艦鳳翔、加賀、龍驤は江口沖に碇泊して尠くとも二百臺の飛行機を揚子江空軍根據地へ卸し、各方面に對する空爆の續行に備へてゐる

海軍の實力が充分に認識されたる旨を述べて左の如く報じてゐる  
浦東の敵陣地に對して猛烈な砲撃を加へた後夜明を待つて引揚げた、更に第三艦隊所屬の巡洋艦五隻驅逐艦二十五隻が暗夜の江上を怪物の如く上下して支那軍を憚してゐる、水上機母艦神威、航空母艦鳳翔、加賀、龍驤は江口沖に碇泊して尠くとも二百臺の飛行機を揚子江空軍根據地へ卸し、各方面に對する空爆の續行に備へてゐる

極秘

内閣情報部一〇・一二

情報第五號

一 外國無線發信電報一

上海 (K H U) 發

(十二日) 上海ロイター支局發信

(一) 南京發

石家莊にある支那軍本部より十一日午後遅くなつて電話で報告し來つた所によれば石家莊の支配は今尙支那軍の手中に在り、僅少の日本軍部隊が滹陀河渡河に成功したが、支那軍本部では事態は重大ではないと稱して居る

(二) 北平發

日本軍の半官的報道によれば石家莊を十一日午后占領したと稱して居るが、事實は石家莊の大部分は今尙支那軍の手中に在る模様である、今朝の日本軍發表は單に日本軍の小部隊が石家莊の北部外廓に入つたと述べて居る、更に東方に於て滹陀河を渡河した他の日本軍部隊は支那軍の退路を絶つ爲に石家莊市を包圍せんとして居る、日本軍發表によれば日本軍の進出は膝までに達する洪水の爲に妨害されて居る。尙滹陀河岸の他の地點に於ては支那軍は頑強に妨戦を續けて居り又日本軍飛行機は石家莊南方の鐵道を爆撃し軍用列車を破壊したと

(三) 北平發